

ひがし

通算第 98 号

2024.7.15 No.14

43部 回全九州研究集会 佐賀大会



大会第1日目会場 SAGA プラザ総合体育

5月29・30日SAGAプラザ総合体育館を中心会場に全九州佐賀大会が実施されました。九重町人啓と東飯田、野上、飯田、南山田各地区人啓から参加枠があり、参加してきました。九州各県を中心に約四千人が参加していました。

大会一日目は、来賓あいさつ・基調提案のあと二つの講演がありました。はじめに鈴木宣弘東京大学院農学生命科学研究科教授が「タネと食と命と人権」と題して講演を行いました。日本の食料自給率や世界の食料事情を説明し、これまでの農業政策を改め、農業(国内の第一次産業)を重視し自給率を高める政策の重要性、そして私たち消費者として支えていく重要性を訴えました。

次の「『全国部落調査』裁判の経過と課題」と題して片岡明幸部落解放同盟副執行委員長が講演を行いました。裁判闘争での成果とネット上での人権侵害の現状と対策について話されました。

大会二日目は、8分科会、16本の報告がありました。大会資料を見ると「人権政策の確立の現状と課題狭山再審闘争」「教育の現状と課題」「全国水平社運動からの学び」「宗教の現状」「企業の現状と課題」「人権の町づくりと隣保館」「部落問題入門」を分科会テーマにあげています。九重町からの参加者も興味のあるテーマの分科会に参加しました。

九重町からの参加者で夕食を共にすることもでき、親睦も深められました。

(参加報告 東飯田地区人啓事務局 岩下厚志さん)

人権を考える講演のタベ
講演「いのち輝いて生きる」
講師 坂田 かおりさん
7月30日(火) 18時30分開演